

12/26 木 7:32

岸田文雄政権が24日、閣議決定した2022年度補正予算案で、軍事費は5兆400億円（トータル）と関係経費合計（以下、10年連続の増額、8年連続での過去最大の追加となりました）。防衛省は、20日、成立した21年度補正予算の軍事費77308億円と合わせ、「防衛力強化加速パッケージ」と呼んでいます。合計額は5兆1744億円で、「GDP（国内総生産）比は1・1%」（既に天防衛相）となりました。軍事力の「強化加速」は、中国など周辺国との軍拡競争をめぐる激化させ、北東アジアの平和と安定に寄与します。

敵基地攻撃能力保有へ

岸田政権が21年度補正予算と22年度予算案を一体化した「16ヶ月発足した第2次安倍晋三政権で始

主張

膨張する軍事費

予算」で終額6兆円を超えた軍事費を盛り込んだのは、「日本は自らの防衛力を強化する」（4月の日米首脳会談の共同声明）と対米公約したのを受けたものです。この結果、「主要装備品は（8月末）に根拠要求したもの全て取り扱い（即防衛相）」という異例の

予算」で終額6兆円を超えた軍事費を盛り込んだのは、「日本は自らの防衛力を強化する」（4月の日米首脳会談の共同声明）と対米公約したのを受けたものです。この結果、「主要装備品は（8月末）に根拠要求したもの全て取り扱い（即防衛相）」という異例の

事態となりました。

岸田政権は、今後も6兆円台の軍拡を続けるため、22年末に改定する「中期防衛力整備計画（中期防）」で5年間の軍事費総額を初めて30兆円台とする調整に入っています。岸田政権が21年度補正予算と22年度予算案を一体化した「16ヶ月発足した第2次安倍晋三政権で始

んだことによる膨大です。

22年度予算案の軍事費には「ア

ンド・オフ防衛能力の強化」と

「米軍再編関係経費」

などが含まれます。このうち、

「アンド・オフ防衛能力の強化」と

「米軍再

編関係

経費

は全体で15080億円に達

します。日米両で新たに増額の合意をした「思いやり予算」（米軍駐留経費負担）20000億円、沖縄県内の米軍基地・訓練の移転費など「SAIC（関係経費）」137億円と合わせると、当初予算で過去最大の48273億円と運びます。

対米過剰の異常な軍拡路線を單

純の方回り抜本的に軽減する方

が切実に求められています。

軍拡アクセル 危険な踏み込み

「アンド・オフ防衛能力」とは敵軍の射程圏外にある位

置から攻撃ができる

能力のことです。

転用可能です。

「米軍再編関係経費」では、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設のため辺野古の島（総面積A（8機・7680億円）の取得▽

ス、以降同じ）をねじります。21年

F-15戦闘機の改修（1000億円）

▽地上に加えて艦船や航空機など

の機材調達（F-35B）のための

基礎建設費として54億円の修正も計上しています。これがも建設反対の大綱」の22年末の改定に向けて、「こうむ」型護衛艦の建造代行に搭載可能なF-35B（4機・10-10億円）の取得も計上されています。

米軍関係費も過去最大

22年度予算案の「米軍再編関係

経費」は全体で15080億円に達

します。日米両で新たに増額の合

意をした「思いやり予算」（米軍駐留経費負担）20000億円、沖

縄県内の米軍基地・訓練の移転費など「SAIC（関係経費）」137億円と合わせると、当初予算で過去

最大の48273億円と運びます。

対米過剰の異常な軍拡路線を單

純の方回り抜本的に軽減する方

が切実に求められています。